



お別れ会く旅立ちの日く



毎年春は、きらりでも様々な別れや出会いがあり、3月は各事業所でお別れ会の取り組みを行うなど、子どもたちにとっても職員にとっても印象的な季節になります。

その中でも今回は、「きらり中安井ルーム」に8年間ほぼ毎日通ってくれていた、「Aさん(仮名)」という一人の女の子の旅立ちに向けて、みんなで準備したお別れ会を紹介したいと思います。



お別れ会を計画するにあたって、事前にみんなで話し合った結果、何名かの児童から「Aさんの好きな歌と一緒に歌って、楽しい思い出を作りたい」「楽器も練習して上手になりたい」という強い希望があり、他の児童もその声に賛同し、合唱(合奏含む)を当日のクライマックスにもってこることにしました。

合唱の曲は、Aさんから好きな歌として聞き取った川嶋あいさんの「旅たちの日に…」に決まり、2カ月前から楽器の振り分けを決め、おやつ

にはその曲を流して、みんなにとって馴染みのある曲にしてもらうなどの工夫を行いながら、こつこつと練習に励みました。

お別れ会が近づくにつれて、合唱も息が合ってきて、楽器の扱いも上達しているのがわかり、みんなの嬉しい気持ちも伝わってきました。ただAさんとの別れも着実に近づいている…そんな複雑な胸の中、お別れ会当日を迎えました。



子どもたちの「ダンス」から始まり、みんなのセッションもスタート直後から一気にMAXです！

その後職員からの出し物として「きらりのキャンディーズ」や「手品」、「三線ライブ」などを披露し、Aさんからは、この日のためにみんなへのプレゼントとして作成してくれていた、「シンデレラ」の紙芝居の読み聞かせを行っていただきました。

そしてお別れ会もいよいよ終盤に…全員参加の「旅たちの日に…合唱・合奏」です。指揮者の合図で始まり、それぞれが練習してきた



2022年3月

パートを披露し、普段あまり喜怒哀楽を表に出さない児童も、演奏中は涙をこらえきれなく、でも必死で演奏を続ける…そんな様子を見てみんなももらい泣き…全員が一体となった合唱・合奏を終えた時は、自然とAさんを囲み、歓声や拍手が起きました。きらりでも良い友人に恵まれ、みんなから愛され、色々な経験を共にしてきたAさんは、4月からは社会人になりますが、自信をもって歩んでくれると信じています。ただ時々きはきらりでの生活も思い出し遊びに来てくれると、職員一同嬉しく思います。



最後にAさんからみんなに贈ってもらった言葉を紹介します。

「これからの人生色々なことがあると思いますが、失敗を恐れずチャレンジして行ってください。そして進路などで悩んだり迷ったりした時は、自分の周りにいる人に相談したり頼ってください。ありがとうございました」